



株式会社エッジシステムズ
代表取締役
吉川 康一 さん

スキー発祥の地でのエッジづくり
当社は、昭和40年頃にスキーの部品である「エッジ」の製造を開始した(株)打江製作所から、平成31年3月に事業を引き継ぎました。昭和40年代には、全国的なスキーブームもあり、上越地域にはスキー製造会社があり、部品製造会社も数社ありましたが、現在は当社を除いていずれも廃業しています。当社では、国内のスキー・スノーボードメーカーをはじめ、個人でスキーを製作する愛好家へもエッジを納めており、国内のシェアは100%を占めています。

上越発のものをづくりを 伝承するために
取引先からは、質の高い製品を作る上では欠くことのできないものとして、当社の製品と加工技術を高く評価されています。
歴史あるまちで培われた「オンリーワン」の技術を、しっかりと次の世代へつないでいくことが課題と感じています。会社として事業を承継していくためにも、こんなものづくりをしている会社があるということから始めようと考え、この度「メイド・イン上越」の認証を受けました。今後は、当社ならではの製品や技術、ネットワークをいかして、日本のスキーの歴史が始まったこのまちな人が集い、スキーを中心に新しい交流が生まれる、そんな新しい取り組みにもチャレンジしてみたいと考えています。

日本スキー発祥の地 上越の灯を現在へ
大正から昭和にかけて花開き、全国に名を轟かせた上越のスキー産業と文化。そのタスキを引き継ぎ、次の世代へ渡そうと取り組んでいる事業者に話を聞きました。



株式会社武蔵野酒造
取締役総務部長
小林 尚 さん

「スキー正宗」の誕生
当社では、大正時代まで販売していた主力商品「越山正宗(清酒)」を、昭和2年に「スキー正宗」と改称しました。当時、「スキー」を商品名に付けることが流行していたとはいえ、お店の顔であった商品の商標を変えるということは大きな決断だったはずですが、それでも改称したということは、「スキーのまち」として地域振興を進めようとしていた行政や商工団体による働きかけもあったのではないかと思います。かつての城下町の賑わいを取り戻そうと、熱意を持って活動していた人たちがいたのだと思います。

スキーを楽しんだり、記念イベントに出掛けたり、日本スキー発祥記念館を訪ねてみたり。110周年を機に、改めてスキー発祥の歴史に触れてみませんか。

「日本スキー発祥の地」の歩みを後世へと

初めて「スキー正宗」を目にしたお客様からは、ネーミングが気になるということ、よく由来を尋ねられます。その際は、高田が日本スキー発祥の地であり、スキー産業が地域を支える主要産業のひとつだったことなどをお伝えしています。
一方で、まちの歴史を後世に伝えていくには、当社の取り組みだけでは限界があります。近年は「まち歩き」がブームになっていて、例え高田に残る古くからの建物やお店に、スキーをはじめまちの成り立ちに関するいろいろな資料を置いておき、訪れる人からそれらを巡ってもらうなど、観光の要素を取り入れながら伝えていく工夫も必要と感じています。
次の100年に向け、まち全体の連携した取り組みで「日本スキー発祥のまち」を発信していきたいですね。

令和3年1月12日

日本スキー発祥110周年

明治44(1911)年1月12日、軍隊の視察のために来日した当時のオーストリア・ハンガリー帝国の軍人・レルヒ少佐により、高田において日本で初めての本格的なスキー指導が行われました。

指導を受けた陸軍第十三師団の師団長・長岡外史中将が中心となり、軍だけでなく、民間へも積極的にスキーを普及させようと取り組んだことにより、スキー板の製造をはじめ、スキーにまつわるさまざまな産業や文化が興りました。「スキー発祥」とは、単にスキーが伝わったということではなく、地域ぐるみの取り組みによってスポーツ、産業、文化など、このまちから日本中にスキーが広まっていったことを意味しています。



高田木工株式会社のスキー製作の様子(大正末~昭和初頃)



スキー菓子の新聞広告(「高田日報」明治末~大正初頃)

明治4年(1871)	廃藩置県により高田藩が解体
明治37年(1904)	日露戦争が始まる。翌年、日露講和
明治40年(1907)	町の発展策としての陸軍第十三師団誘致運動が実を結び、誘致決定
明治41年(1908)	第十三師団入城開始
明治44年(1911)	【日本スキー発祥】
明治45年(1912)	高田で日本初のスキー競技会が開催される
明治末~大正	高田市制施行
大正9年(1920)	高田におけるスキー生産高45000台
大正11年(1922)	高田におけるスキー生産高1万5千台
大正14年(1925)	「高田日報」が、高田のスキーの生産高が日本一であることを報じる
大正15年(1926)	スキー民謡「さらさら」と誕生
昭和5年(1930)	日本スキー発祥20周年、「大日本スキー発祥の地」記念碑建立
昭和9年(1934)	高田におけるスキー生産高3万4千台
昭和36年(1961)	日本スキー発祥50周年、レルヒ像建立
昭和40年代	全国のスキー生産高の約4割(150万台)を生産
昭和46年(1971)	ドルシヨックおよび翌年のオイルシヨックによりスキー生産が急激に落ち込む
平成9年(1997)	最後の市内スキー製造業者が生産を中止
平成23年(2011)	日本スキー発祥100周年

レルヒ祭

—日本スキー発祥110周年—

レルヒ少佐の功績をたたえ、さまざまなイベントを開催します。本号では、事前申し込みが必要なイベントなどをお知らせします。

▶とき…令和3年2月6日④・7日④ ▶ところ…金谷山スキー場、高田本町商店街ほか

■問合せ…レルヒ祭実行委員会事務局

((公社) 上越観光コンベンション協会 (☎025-543-2777))



上越観光ネット

一本杖スキー講習会



レルヒ少佐が伝えた「一本杖スキー」を体験しませんか。

▶とき…2月7日④午後1時30分～3時

▶ところ…金谷山スキー場

▶定員…20人(申込順) ▶費用…無料

▶申し込み・問合せ…申込書に必要事項を記入し、2月3日④までにレルヒ祭レルヒ顕彰部会事務局(日本スキー発祥記念館内、☎・FAX 025-523-3766)

高田本町商店街でのイベント

●本町ガチ盛りまつり

本町、仲町の飲食店が「ガチ盛りメニュー(3.5人分)」を提供します。

▶とき…2月6日④～28日④

▶ところ…本町、仲町の飲食店



(※関連イベントやレルヒ祭の実施は、天候や新型コロナウイルス感染症の影響などにより変更・中止となる場合があります。)

キューピットバレイで滑りませんか!

安塚区雪だるま高原のキューピットバレイがオープン! 気軽に行くことのできる市内のスキー場でウィンタースポーツを楽しみましょう。

▶営業期間…令和3年3月21日④まで(予定)

▶営業時間…午前8時30分～午後4時30分

▶問合せ…キューピットバレイ (☎025-593-2041)



キューピットバレイ

シーズン中のプラン・イベント

○お得なリフト料金割引(1日券対象)

…上越市民割(毎月第3土・日曜日)、18・19歳無料、20～22歳半額、ほか多数

※割引きなどを受ける際は、身分証などが必要となります。

○小学生向け初心者レッスンの開催

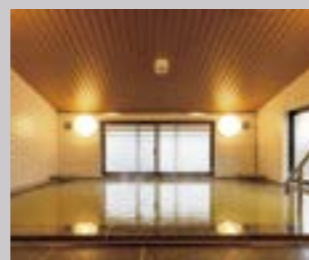
○レストランイベント「ガチャランチ」では目玉メニューを用意しています。

ゆきだるま温泉 日帰りの湯「久比岐野」

リニューアルした源泉掛け流しの天然温泉で、のんびりくつろげます。

▶営業時間…○平日=正午～午後6時 ○土・日曜日、祝日の前日=正午～午後8時30分

▶利用料…大人(中学生以上)600円(上越市民は500円に割引)、小学生300円、未就学児(3歳以上)100円



日本スキー発祥110周年記念 関連イベント

レルヒ少佐によって日本で初めて本格的なスキー指導が行われた、1911年1月12日。このことから、「1月12日」は「スキーの日」と定められています。令和3年1月12日に日本スキー発祥110周年を迎えることを記念し、さまざまなイベントなどを開催します。

日本スキー発祥110周年記念講演会

レルヒ少佐が伝えたスキーが高田の人々の暮らしや文化、産業にどのような変化をもたらしたのか、日本スキー学会会長の新井博さんから講演いただきます。

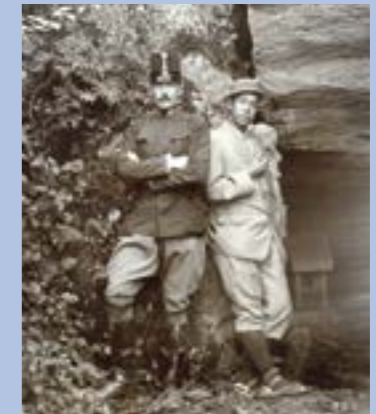
▶とき…1月11日④・⑤午後3時～5時(開場:午後2時30分)

▶ところ…オーレンプラザ

▶定員…200人程度

▶申し込み・問合せ…1月7日④までに、電話(平日の午前8時30分～午後5時15分)またはファクシミリ、メールで住所、氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、連絡先をスポーツ推進課(☎025-545-9246、FAX025-545-9273、✉sports-k@city.joetsu.lg.jp)

日本スキー発祥記念館テーマ展示「レルヒ少佐と高田の友人たち」



レルヒ少佐と岡倉一雄(岡倉天心の長男)・妙高山惣滝附近(日本スキー発祥記念館所蔵)

レルヒ少佐は、軍人だけでなく一般の市民とも交流を深めました。高田の友人たち(画家・新聞記者)との交流の様子から、スキー指導にとどまらないレルヒ少佐の側面を紹介します。

▶とき…1月9日④～3月28日④

▶ところ…日本スキー発祥記念館

▶開館時間…午前10時～午後4時(入館は閉館の30分前まで)

▶入館料…一般460円、小・中学生、高校生160円

▶休館日…月曜日、祝日の翌日(1月11日④・⑤は開館、スキーの日(1月12日④)およびレルヒ祭(2月6日④・7日④)は入館無料)

▶問合せ…歴史博物館(☎025-524-3120)

日本スキー発祥110周年記念パネル展

上越市におけるスキーの振興や産業の歴史など紹介するパネルを展示します。

▶とき…1月8日④～2月7日④

▶ところ…高田まちかど交流館、ミューゼ雪小町、オーレンプラザ、高田・直江津図書館、キューピットバレイほか

▶問合せ…スポーツ推進課(☎025-545-9246)

「スキーの日」レルヒ少佐顕彰会

レルヒの会による一本杖スキーの披露、レルヒ少佐への献花、「日本スキー発祥の火」の採火を行います。

▶とき…1月12日④午後1時～ ▶ところ…金谷山スキー場

レルヒ像前(荒天の場合は日本スキー発祥記念館) ▶問合せ…スポーツ推進課(☎025-545-9246)

●レルヒ像ライトアップ

▶とき…1月12日④、2月7日④午後5時～8時 ▶問合せ…観光交流推進課(☎025-526-5111、内線1386)

●金谷山スキー場リフト搭乗無料(営業時のみ)

▶とき…1月12日④午前9時～午後4時30分 ▶問合せ…施設経営管理室(☎025-526-5111、内線1314)



○4月には、長岡外史中將により建てられ、平成5年に大町2丁目に移築・復原した旧師団長官舎(市指定文化財)がレストランとしてリニューアルオープンします。

○10月には、オーストリアのリリエンフェルト市とスキーが縁で姉妹都市提携を行ってから40周年を迎えます。